

# 平成27年度 1年間の人権教育の取組〈大胡東小学校〉

## 1 研究のテーマ

互いを認め合い、伸び伸びと生きる子供の育成  
～学校・家庭・地域社会の連携を通して～

## 2 研究のねらい

互いを認め合い、伸び伸びと生きる子供を育成するために、学校・家庭・地域社会の連携した取組が有効であることを実践を通して明らかにする。

## 3 研究の内容

本校では人権教育推進計画に基づき人権教育に取り組んでいる。生活アンケートを実施と結果の分析および hyper-Q UやC & Sを実施し、児童の自己有用感を持たせるために活用を図った。また、平成27年度については重点課題を設定し、職員の共通理解のもとに推進した。

### 〈平成27年度の重点〉

#### (1) 人権集中学習(なかよし学習)の充実(期間 11月～12月)

##### ①生活アンケートの実施

・担任が児童の気になっていることや悩み等児童の理解を深めるために行い、指導に生かした。

##### ②人権啓発ビデオ(いじめや仲間はずれなどの内容)の視聴と感想文。

③学級活動でのクラスの問題点(仲間はずれやいじめなど)の話し合いを行い、人権についての意識を深めた。

##### ④人権教育の視点を取り入れた研究授業



1年生にどんな言葉  
をつかって招待状を  
書こうかな?

##### ⑤人権教育講演会



車椅子でバスケットができる  
なんて、すごい。話を聞いて  
命の大切さが分かった。

【こころと街のバリアフリーを目指して】

##### ⑥校長による人権に関する朝礼



大胡東小学校のひとりひとりが  
みんながうということ  
そのちがいを  
みとめる わかりあう  
みんなちがってみんないい  
だれもが だれからも 大切に してもらえ  
学校 = 人権を大切にす学校

児童のつぶやき  
一人一人ちがっていいんだね。  
友達のいいところをいっぱい見つけよう。

##### ⑦人権標語の作成と掲示

保護者と一緒に考えて各クラスで出し合い、「広げよう、みんなのやさしさ 心の輪」「やさしさは 心  
をかわす第一歩」などの標語が出され、校内や地域の公民館に掲示した。

- ⑧ 保健委員会の取組（世界エイズデーに向けて）  
レッドリボンしおりを作成して児童にプレゼントし、偏見を持たないことへの啓発に努めた。



## 〈その他人権教育に係わる主な取組〉

### （1）福祉体験

4年生の総合的な学習の時間「福祉についての理解を深めよう」で社会福祉協議会の方と連携をして体験活動を行い、福祉について考えを深めた。

#### ① 車椅子の体験を通して



これから、スタートするね。そっとおすからね。

#### ② アイマスクの体験を通して



なにも見えないな。だいじょうぶかな。

### （2）児童が主体となって計画し実施した異学年交流

#### ① なかよしタイム



お兄さん、お姉さんといっしょで楽しいな。

#### ② 児童会活動によるあいさつ運動



大きな声で「おはようございます！」

#### ③ いじめ防止対策会議を中学生と連携して実施

### （3）地域、家庭との連携や交流

- ① 各学年のなかよし学習の内容や感想文、人権標語・基本的な考え方などを学校だよりや学年・学級通信に掲載し、保護者や地域の方に学校での人権教育の取組について啓発を図った。
- ② 人権教育講演会の参加を呼びかけ、聴講していただき、感想を寄せてもらった。
- ③ 親子清掃活動や昔あそびを通して保護者や異世代の方との交流を行った。

## 4 成果と課題

### （1）研究の成果

- ① 本校では学校教育目標「一人一人を大切にし、みんなを笑顔にできる学校」を目指して児童の育成に取り組んでいる。その基盤をもとに、人権教育の充実を目指して、期間を設定した様々な活動を取り入れたことは、児童の感想文や発する言葉や行動観察から、人と人との関わり合いや交流、自分と他人とのちがいを認めてよりよく生活しようとする意識の高まりが見られた。
- ② 職員自身が、人権感覚をさらに磨ききっかけとなり、児童への指導に役立てることができた。

### （2）今後の課題

- ① 児童が主体的に人権について考え、計画していくような活動が増えることにより、みんなの笑顔が増えていくと考える。各学級や児童会活動において、児童の主体的な考えや実践を引き出すことができるような取組を考えていきたい。
- ② 学校・学年・学級だよりで学校の取組を家庭に知らせ、理解や協力を図っているが、学校からの一方通行のようなどころもある。今後、相互に発信し返信できるような取組をしていく必要がある。